

2024年6月26日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

ダイドウ ケンコウ アワード
第2回「DAIDO KENCO AWARD」
表彰企業の取組内容を公表

～ 中小企業の健康経営の普及・推進を目指して ～



T & D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、本日、「DAIDO KENCO AWARD」の表彰企業の取組内容を特設サイト^{※1}で公表しました。

「DAIDO KENCO AWARD」は、中小企業における健康経営[®]^{※2}のより一層の普及と実践支援を目的として2022年9月に創設した当社独自の表彰制度です。2回目となる今回は、健康経営について、特に顕著な取組みをされている123社を表彰しました^{※3}。

当社は、こうした取組みを通じて、引き続き「中小企業とそこで働く人々がいきいきと活躍できる社会づくり」と「高齢化社会が抱える課題解決」への貢献を目指してまいります。

<「DAIDO KENCO AWARD」の概要>

| | |
|------|---|
| 応募資格 | ・「KENCO SUPPORT PROGRAM（以下、KSP） [※] 」会員企業（法人・個人事業主） ※当社がお客さま向けに無料提供している健康経営の実践ノウハウを集約した支援ツール https://www.daido-life.co.jp/knowledge/healthfund/program.html |
| 表彰基準 | ・「健康経営に関するアンケートの回答内容 [※] 」および「KSPの活用状況」をポイント化し、一定の点数以上の企業を表彰 ※経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」の評価項目から、特に重要なものを設定 |

※1：全国の中小企業経営者の健康経営実践にお役立ていただけるよう、表彰企業の健康経営に関する具体的な取組内容や効果等を掲載した特設サイト（<https://daido-kenco-award.jp/>）

※2：「健康経営[®]」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※3：2024年3月14日ニュースリリース（https://www.daido-life.co.jp/company/news/2024/pdf/240314_news.pdf）

特設サイト掲載の取組事例（一部抜粋）

建設業(従業員 29 名)

実践している取組み

- ・腰痛予防などのストレッチやヨガに関する健康教室を毎年開催。
- ・社内を分煙化し、現場は完全禁煙とした。
- ・毎月社内で健康について話し合い、健康についての様々な情報提供を行う時間を確保。
- ・健康アプリ KSP を導入して、社員全員の健康意識を高め、健康診断結果を見易く工夫。
- ・大同生命が開催しているウォーキングキャンペーンに社員を巻き込んで挑戦。
- ・インフルエンザの予防接種補助や婦人科検診補助を実施。
- ・ノー残業デーの実施、またリフレッシュ休暇制度を作り有給休暇を取得し易く工夫。
- ・1年間病気などをせずに無欠勤また欠勤が少なかった社員に「皆勤賞」「精勤賞」の表彰を実施。

健康経営の効果

- ・喫煙率が 46%から 28%に低下。
- ・病欠での欠勤日数が減り、アブゼンティーイズム（心身の不調により仕事を休業、欠勤している状態）が改善。
- ・1カ月の平均残業時間が少なくなり、有給休暇取得率が増加。
- ・社員への健康アンケートで、労働生産性は全国平均より高く、プレゼンティーイズム（欠勤には至っていないが、健康上の問題が理由で生産性が低下している状態）の改善に大きな効果があったことが判明。
- ・健康経営を始めてから会社の売上が約 30%アップし、離職者が減り、従業員数も毎年増加している。

専門・技術サービス業(従業員 16 名)

実践している取組み

- ・社内に健康に関する面談場所を設置し、健康診断だけでなく特定保健指導受診率も毎年 100%達成。
- ・法定のストレスチェックに加え相談窓口を設置し、メンタルヘルス対策を強化。
- ・KSP のウォーキングキャンペーン時には会社独自の参加賞や達成賞を設定。
- ・毎日 10 時と 15 時はストレッチタイムとして、僅かでも体を動かす時間を確保。
- ・業務時間内にポッチャ大会を開催。
- ・受動喫煙対策として敷地内及び就業時間内を禁煙とし、喫煙者率の減少も目指し禁煙外来の補助を実施。
- ・社員の意識向上のため、健康に関する意識調査アンケートや講習会を定期的に開催。
- ・1 時間単位の有給休暇制度、フレックスタイム制・時差出勤制などの制度を導入し、それぞれ事情の異なる社員が働きやすい環境を整備。

健康経営の効果

- ・健康経営を実践することにより社員個々の健康に関する意識が向上しているのを感じている。
- ・ウォーキングキャンペーンをきっかけに運動習慣のなかった社員が歩くことを始め、キャンペーン期間中はランキング形式で社員同士の取組状況を確認できるため、楽しくコミュニケーションも取れている。
- ・健康経営の一環として社内レクリエーションの機会が増え風通しも良くなった。働きやすい職場環境づくりを進めることによって、地域や取引先にも良い雰囲気であることが伝わっているのを感じている。